

VCによるスタートアップの知財支援

2022/04/14

会社概要

独立系ベンチャーキャピタルとしてスタートアップ投資を行う。
大企業との連携も強く、CVC運営およびアライアンス構築支援も行う。

基本情報

会社名	グローバル・ブレイン株式会社
資本金	1億円
代表	百合本 安彦
本社	〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町10番11号
他拠点	US、UK、韓国、シンガポール、 インドネシア
URL	https://globalbrains.com

事業の概要

事業内容	ベンチャーキャピタル事業
運用資産総額	1,735億円
実績	株式公開（IPO）：24社* M&A：57社
会社沿革	<ul style="list-style-type: none"> 1998年設立 2001年よりアールリーステージのベンチャー企業をハンズオンで支援するベンチャーキャピタル事業を本格的に開始 現在は、ベンチャーキャピタル事業に会社の全リソースを集中投下

GB知財チーム体制

内部専門家3名、外部パートナー1名の計4名体制で2020年より知財支援開始



西野 光慧

Corporate Management Group

弁護士。都内法律事務所の勤務弁護士、国内ゲーム会社の法務マネージャーを経てGBに参画。ゲーム会社では、ゲーム分野、エンターテインメント分野、VR分野の法務のほか企業法務全般に従事



廣田 翔平

Investment Group

弁理士、AIPE認定知財アナリスト(特許)。大手電機メーカー知財部門を経てGBに参画。大手電機メーカーでは、半導体、AI分野、衛星測位分野等の知財戦略立案、発明発掘、国内外での特許権利化に加えて、米国での特許係争等に従事



平井 孝佳

Investment Group

リコー、ソニーグループを経て、GBに参画。ソニーグループでは、主に医療・ヘルスケア分野の特許業務全般に従事。GBでは、知財DDおよび知財支援を担当。



外部提携パートナー

内田 誠

iCraft法律事務所代表

弁護士・弁理士。経産省「AI・データの利用に関する契約ガイドライン」委員、IPAS知財メンター等。スタートアップの知財戦略構築、知的財産権紛争、システム開発紛争、個人情報保護法、データ取引、AI関連法務が専門

知財支援実績

支援実績

支援先

35社

特許出願

56件 (出願完了46件)

※2020年4月から2022年4月時点までの実績値

知財支援実績

支援業種



・・・etc

Deep tech比率

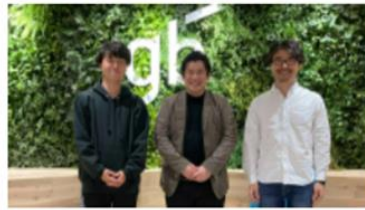
26%

※支援先数ベースの割合

IP BASE AWARD エコシステム部門グランプリ受賞

【エコシステム部門】
〈グランプリ〉

global
brain



グローバル・ブレイン株式会社

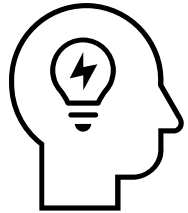
グローバル・ブレインは1998年に設立され、東京を拠点におきながら、サンフランシスコ、ニューヨーク、ロンドン、ソウル、シンガポール、ジャカルタ、上海に子会社を有する独立系ベンチャーキャピタル。徹底したハンズオン支援、グローバルなエコシステム、スタートアップと大企業のオープンイノベーションを通して、スタートアップを支援するとともに、新たな産業の創出を目指しており、その運用資産総額は1500億円を超えている。知財関連の取組みとして、社内に知財専門家からなる知財チームを設け、スタートアップ投資の際の知財デューデリジェンスと、投資先スタートアップへの知財活動支援を展開している。



<https://ipbase.go.jp/news/2022/03/news-0315.php>

スタートアップにおける知財活動の課題

主に以下の2点が課題として認識されるが、特に実行面の課題解決が重要



■ 経営者の意識・マインド

- ・ 意識のある経営者は実は一定数存在しており、弊社支援先は基本的にインバウンドでの相談
- ・ 今後成功事例が出てくれば自然と高まってくると想定



■ 知財活動の実行力・推進力

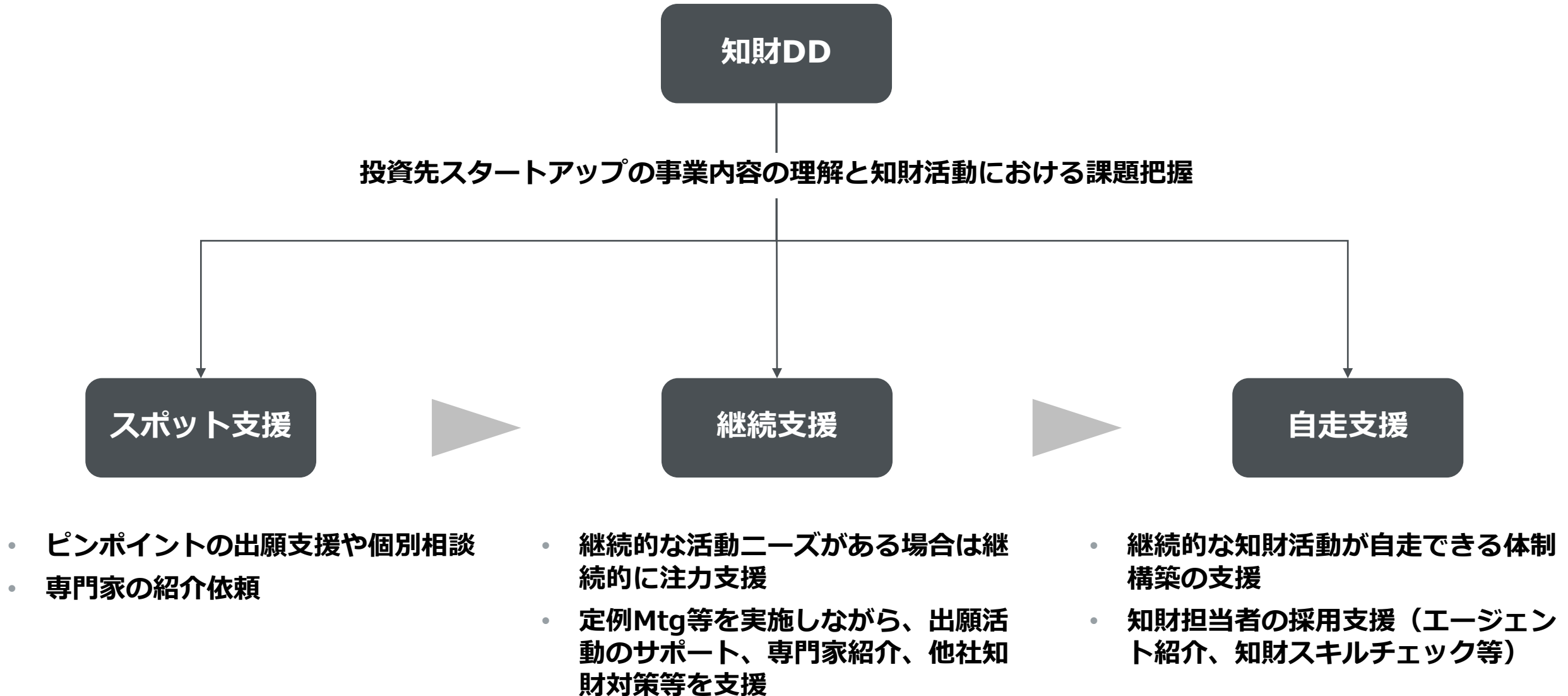
- ・ 経営者に意識があっても、実際になにを誰と進めていけばいいのかわからない、特許事務所と進めていてもうまく進んでいるのかわからないといった相談が多い
- ・ 本質的には内部に知財知識のある人材がおらず、IPO前後程度まで進まないと一人分の知財業務もないため採用することも困難という点に課題

Global Brainによる知財支援

知財専門家でありながらスタートアップと知財専門家を繋ぐ支援活動を推進



知財支援の概要



スタートアップ知財専門家に必要な能力

知財スキル

■ 知財戦略の立案能力

- 各社の技術・事業を理解した上で、事業のコアを見定め適切な知財戦略を構築できるか

■ 知財戦略の実行力・推進力

- 戦略があっても実行できなければ意味がなく、戦略を推進・実行する能力まで必要

■ 出願戦略の実務能力

- 最後に重要なのは1件1件の特許の質
- 良い戦略があっても質が悪い知財ではすべてが無駄に
- 戦略を理解して十分な質が確保できる実務能力が必要

マインドスキル

■ 主体性

- 相談・依頼内容だけでなくその周辺も含めて主体的・能動的に動けるか

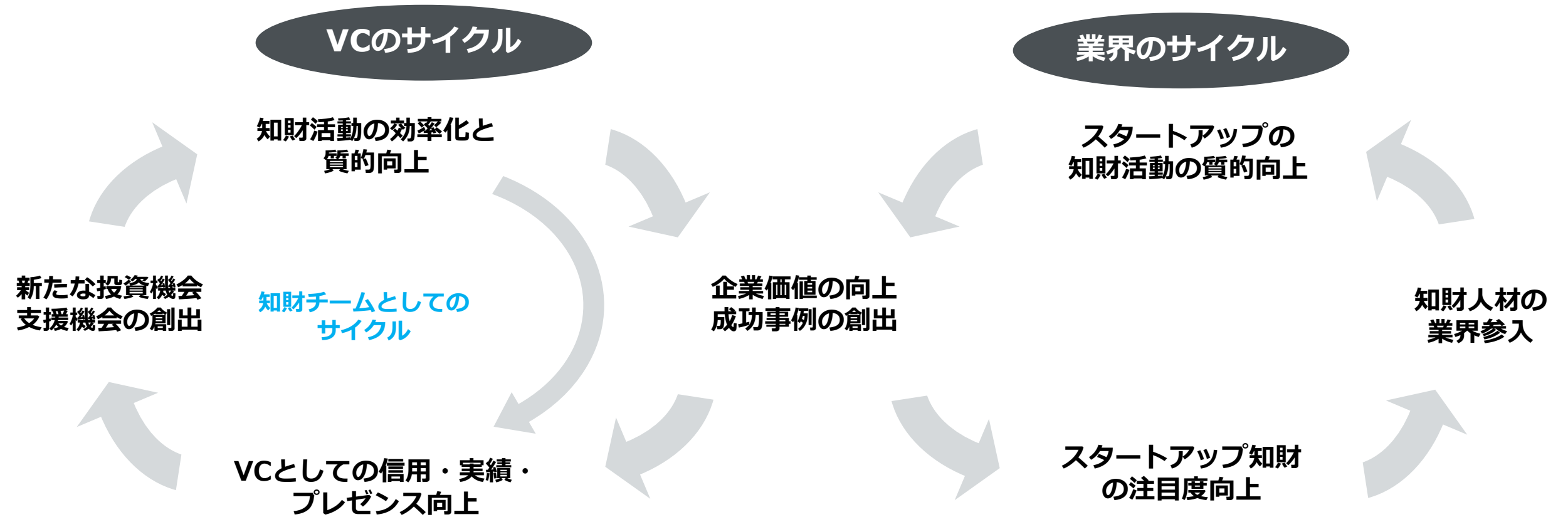
■ スピード感・瞬発力

- 変化の激しいスタートアップに求められるスピード感・瞬発力に対応できるか

■ 創造と革新

- 今までにない技術やビジネスモデルを扱う際に、既存のやり方を超えた戦略と実践を考える力があるか

今後の目標とスタートアップの知財エコシステム





END